

表1 天孫降臨・火中出産譚表

		古事記	書紀本書	書紀「一書」第一	書紀「一書」第二	書紀「一書」第三	書紀「一書」第四	書紀「一書」第五	書紀「一書」第六	書紀「一書」第七	書紀「一書」第八
ホノニニギ	降臨地	筑紫日向高千穂久士布流多気	日向襲高千穂峰	筑紫日向高千穂穂触峰	日向穂日高千穂峰		日向襲高千穂穂日二上峰		日向襲高千穂添山峰		
	国覓	言祝ぎ	○		○		○		巡覧		
	国譲り		○		○		○		○		
	通った場所		ソシシの空国		ソシシの胸副国		ソシシの空国				
	到った場所		吾田の長屋の笠狭の碕				吾田の長屋の笠狭の御碕		吾田の笠狭の御碕に到り、長屋の竹島に登る。		
コノハナサクヤヒメ	会った場所	笠沙の御前			海浜						
	名前	カムアタツヒメ	カシツヒメ		カムアタカシツヒメ	カムアタカシツヒメ		アタカシツヒメ	コノハナサクヤヒメ		
	別名	コノハナサクヤヒメ	①カムアタツヒメ ②コノハナサクヤヒメ		コノハナサクヤヒメ				トヨアタツヒメ		
ホノニニギとコノハナサクヤヒメの子	長男	ホデリ(隼人の阿多君が祖)	ホノスソリ(隼人等が始祖)		ホノスセリ	ホノアカリ			ホノスセリ		
	次男	ホスセリ	ヒコホホデミ		ホノアカリ	ホノススミ(またはホノスセリ)			ホノヲリ(またの名をヒコホホデミ)		※オシホミの子にホノアカリ。これは尾張連等が遠祖。その弟がホノニニギでコノハナサクヤヒメを娶り、ホノスセリ、ヒコホホデミを産む。
	三男	ホヲリ(またの名はアマツヒタカヒコホホデミ)	ホノアカリ(尾張連等が始祖)		ヒコホホデミまたはホノヲリ	ホノヲリヒコホホデミ		4子を産む(ホノアカリ、ホノススミ、ホノヲリ、ヒコホホデミの順)	※第六では降臨前にアマノオシホネの子としてホノニニギとその兄のアマノホノアカリが生まれ、さらにその子のアマノカグヤマが尾張連等が遠祖。 ※アマノキセがアタツヒメを娶り、ホノアカリ、ホノヨリ、ヒコホホデミを産む。		